

逆境から飛躍への道を切り拓く

「科学的理論」としての全体最適のマネジメント理論 TOC

日時 2022年7月22日（金）14時～17時

対象 日本経営工学会会員限定

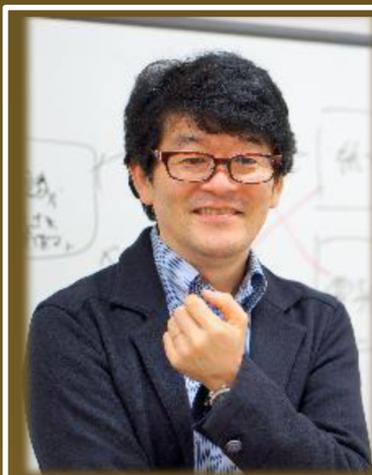
URL <https://jimaseminar.conferenceservice.jp/>



全世界で 1000 万人が読み、ありとあらゆる分野で目覚ましい成功事例が続出している伝説のベストセラー『ザ・ゴール』。世界中のトップMBAスクールで必須の教科書として活用され、アマゾンのジェフベゾスをはじめ、世界中で著名経営者を輩出しているのは広く知られています。この本の著者、物理学者であるエリヤフ・ゴールドラット博士が、開発した全体最適のマネジメント理論が TOC (Theory Of Constraints) です。

ゴールドラット博士が自ら語っているように、TOC は「手法」ではなく、「理論」として開発されています。TOC の適用範囲は、今もなお拡大し続け、生産やサプライチェーンのみならず、営業、プロジェクトマネジメント、行政、組織問題、会計、社会貢献事業など、さまざまな分野に展開され目覚ましい成果を出し続けています。

今回は、自然科学と同じレベルの再現性のある「科学的理論」としての TOC が、どうして目覚ましい成果を出すことができるのか、その理論の詳細と、そして目覚ましい成果の数々をご紹介します。



○ 講演者紹介：岸良 裕司（きしらゆうじ）

ゴールドラット・ジャパン CEO。全体最適のマネジメント理論 TOC (Theory Of Constraint: 制約理論) をあらゆる産業界、行政改革で実践し、活動成果の1つとして発表された「三方良しの公共事業」はゴールドラット博士の絶賛を浴び、07年4月に国策として正式に採用される。著作活動も活発で、笑いながら学べ、しかも、ものごとの本質を深く見つめるユニークなスタイルで読者の共感をよぶことに定評があり、ベストセラーを海外を含めて多数出版している。